

(一社)熊本県地質調査業協会

令和7年度
第45回

技術講演会

～ 最新技術が拓く地質調査の未来図 ～

令和7年10月17日(金)

熊本市国際交流会館 6・7階ホール

(熊本市中心区花畑町4-18)

講演会プログラム

入場
無料

12:30～13:00 開 場 (12:50までには御着席下さい)

13:00～13:30

1. マレーシアの地下水開発

講師

特定非営利活動法人日本水フォーラム
代表理事

竹村 公太郎氏



13:40～16:40

2. 3D地質モデリングにおける不確実性の評価

講師

マレーシア・サインズ大学土木工学部教授

モフド・アシュラフ・
モハマド・イスマイル氏



16:40 終 演

- ◆ 参加費は「無料」です。 ◆ この講演会は、CPD・CPDSプログラム認定です。
- ◆ 別紙申込書により、参加申し込み下さい。(なお、申し込みが無くても入場できます)

主催 (一社)熊本県地質調査業協会

TEL: 096-277-1917 E-mail: kumachi@cup.ocn.ne.jp

後援

(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)九州地質調査業協会、(公社)地盤工学会九州支部、
(公財)肥後の水とみどりの愛護基金、特定非営利活動法人 日本水フォーラム、
熊本県退職者地質調査親興会



Takemura Kotaro

竹村 公太郎

特定非営利活動法人日本水フォーラム代表理事
博士(工学)

略 歴

1945年生。東北大学工学部土木工学科修了後、建設省入省。主にダム・河川事業を担当し、宮ヶ瀬ダム工事事務所、中部地方建設局河川部長、近畿地方建設局長を経て国土交通省河川局長。退官後リバーフロント研究所代表理事を歴任し、2014年より現職。

2022年4月に熊本で開催した「第4回アジア・太平洋水サミット」に尽力するとともに、2021年より、これまで培った経験と技術を次世代へ継承すべく、高校生世代を対象とした「ユース水フォーラム」の活動も展開している。

受 賞

- ・瑞宝中綬章(2015年11月)
- ・土木学会国際貢献賞(社)土木学会(2016年6月)
- ・土木学会功績賞(社)土木学会(2018年6月)

書 籍

「日本文明の謎を解く」(清流出版 2003年)、「土地の文明」(PHP研究所 2005年)、「幸運な文明」(PHP研究所 2007年)、「本質を見抜く力」(PHP新書 2008年)「水力発電が日本を救う」(東洋経済新報社 2016年)、「地形と水脈で読み解く! 新しい日本史」(宝島社 2019年)、「広重の浮世絵と地形で読み解く 江戸の秘密」(集英社2021年)、「日本史の謎は『地形』で解ける(日本人の起源論)」(PHP文庫、2023年12月)など多数。



Ashraf Ismail

モフド・アシュラフ・ モハマド・イスマイル

マレーシア・サインズ大学土木工学部教授

専門分野

地盤工学・岩盤工学・水文地質学・地下掘削

学 歴

地質工学修士号斜面工学(ガジャマダ大学) 2006年

地盤工学博士号(京都大学) 2010年

略 歴

USM土木工学部准教授。2004年にUSMで土木工学学士号を取得後AUNSEED Net JICAプロジェクトの支援の下、ガジャマダ大学で地質工学修士号を取得。2010年、JICA給費留学生として京都大学にて地下エネルギー貯蔵と炭化水素貯蔵洞窟の流体力学封じ込めに関する研究で地盤工学博士号を取得。硬岩トンネルにおける岩盤応力評価、都市トンネル、斜面安定解析、ジオハザード、土木・地質工学における物理探査の応用など、地盤工学・岩盤工学・水文地質学等の様々な側面を専門として研究を行っている。近年は、UAVを用いた空撮マッピングや写真測量解析に携わり、ビルメンテナンス、地すべり鑑識、地すべり災害の評価、埋立地や採石場の評価を含む建設計画や進捗状況のモニタリングに活用している。2015年以来、UAV技術と3Dモデリングを教育や研究に取り入れている。2017年からは世界No1の岩盤関連ソフトウェア Rocscience社の代表として120ヶ国以上450の大学のサポートを行っている。